

秋田県
上小阿仁村

Dopa網活用 遠隔監視システム

天然秋田杉の里として知られている秋田県上小阿仁村。給水人口約三千人で、八カ所の簡易水道事業を運営しているが、うち四カ所にNTTドコモのDopa網を活用した遠隔監視システムを導入している。インターネットやiモードを介した二十四時間の自動監視で、これまで現地に行かなければわからなかった非常時にも、役場や担当者の携帯電話に通報、状況把握が



武石係長

可能になった。維持費がかかる専用回線を必要としないことから、経費面でのメリットも大きいという。導入したのは「上下水道施設監視・制御・管理システム水神」(小松電機産業製)。クリプト対策としてる過装置の新設などを実施した統合簡易水道事業・増補改良事業の一環で平成十三年度、大林、沖田面地区、小沢田(一部)、羽立の簡水四カ所に監視制御装置の「パッケージ水神」を設置した。

「日報、月報はFAXで膨大な量が届き、ペーパーレス化が課題にあった。また、運転管理は現地の施設管理業者にまかしているが、非常時に通報があっても現地向かうまで状況はわからない。施設も点検している。いい非常通報システムがないか模索していた」(武石晋上小阿仁村建設課係長)と、導入当時を振り返る。



現地設置の監視制御装置



各施設の状態把握にインターネットを活用



iモードで運転状況を確認

非常時対応を強化

iモードでも監視可能

このシステムは、現地に監視制御装置を設置するだけで、中央監視装置は不要。流量や残留塩素、濁度など運転データは、NTTドコモのDopa網を経由して、事業者はインターネットやiモードからアクセスすれば、リアルタイムの状況が把握できる。データセンターは、小松電機産業の

このシステムは、現地に監視制御装置を設置するだけで、中央監視装置は不要。流量や残留塩素、濁度など運転データは、NTTドコモのDopa網を経由して、事業者はインターネットやiモードからアクセスすれば、リアルタイムの状況が把握できる。データセンターは、小松電機産業の

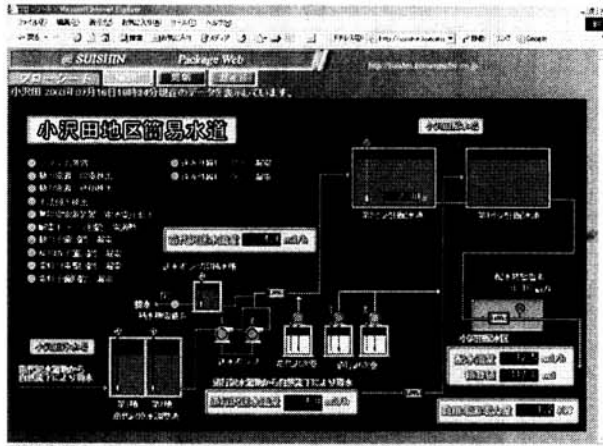
先の宮城県北部地震では電話が全く機能しない状況に陥ったが、Dopa網は非常回線の契約を結んでいることから、その状況下でも支障はなかったという。また、「漏水調査を行う際、これまで配水池水量で工事力を把握するため、浄水場に職員を配置しなければならなかった。このシステムの導入後はiモードを活用して、携帯電話で水量が把握できるので、作業効率が上がった」と、日常管理面での効果も指摘している。

島根本社と東京・代々木にあるドコモ・マシンコムに設置、通信やデータ管理を行っている。

無線システムなので、一般公衆回線の施設設置負担金が不要。また、日報月報など報告書類は自動作成できるので維持管理業務の軽

同村では平成十四年度、農業集落排水施設一カ所にこのシステムを設置しており、今後、簡水一カ所に導入を予定している。秋田県下では初めての導入で、近隣にも採用事例が広がっている。

同村では平成十四年度、農業集落排水施設一カ所にこのシステムを設置しており、今後、簡水一カ所に導入を予定している。秋田県下では初めての導入で、近隣にも採用事例が広がっている。



運転状態をフローシートで表示できる

遠隔監視システム